

平成 24 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

Table with columns: 事務事業名, 会計名称, 総合計画での位置づけ, 事業の性格, 事業の対象, 事業の目的, 改善策の具体的な取り組み(当初), 改善策の具体的な取り組み(二次評価後).

Table with columns: 事業費及び財源内訳 (千円), 事業活動の実績 (活動指標). Includes sub-tables for direct costs, financial sources, and activity metrics.

Table showing 向こう5年間の直接事業費の推移 (千円) with columns for 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, and 5年間の合計.

Table for 成果指標 and 指標設定の考え方. Includes a trend chart for 商工会会員数 from 2013 to 2015.

今年度の課題への対応状況 (途中経過)

Main evaluation table with columns: 事業の事業, 自己評価(担当者), 一次評価, 課題認識. Includes detailed criteria like '目的の妥当性', '町民ニーズへの対応', '事業の効果', etc.

事務事業名	久山町商工会補助金交付事務	予算事業名		担当課	魅力づくり推進課
会計名称	一般会計	予算科目	7 款 1 項 2 目	所属長名	久芳 義則
総合計画での位置づけ	地域資源を活かし、新たな発展を生む産業をつくる			担当責任者名（記入者）	久芳 文香
				電話番号（内線）	
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等		
事業の対象	久山町商工会		実施期間	【開始年度】	平成 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
事業の目的	商工会の運営を円滑に進めると共に、活動の充実を図る。		事業の内容	補助金交付	
改善策の具体的な取り組み（当初）			改善策の具体的な取り組み（二次評価後）		

（自己評価） 担当者評価	妥当性	目的の妥当性	3	C	B	4	目的の妥当性	妥当性	一次評価
		町民ニーズへの対応	3			3	町民ニーズへの対応		
		町の関与の妥当性	3			4	町の関与の妥当性		
	有効性	事業の効果	3	C		2	事業の効果	有効性	
		成果向上の可能性	3			3	成果向上の可能性		
		施策への貢献度	3			3	施策への貢献度		
	効率性	手段の最適性	3	C		3	手段の最適性	効率性	
		コスト効率	2			3	コスト効率		
		受益者負担の適正	3			3	受益者負担の適正		
課題認識	会員の確保、新たな事業の取り組み等により活性化を図る必要がある。 自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、評価したもの。				補助金交付というだけでなく、協議を通して意見交換・情報交換を活発にしていけることで、町との連携及び商工会組織の強化を図っていく必要がある。				

施策を踏まえた判断	二次評価（所属長）	<input type="checkbox"/> 一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		<input type="checkbox"/> 町民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。 行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 【評価 B：事務事業の進め方の改善を検討する必要がある】 商工会自らが、活性化につながる独自の事業を展開し、新しい発想で会員増を目指していただきたい。それには、協議を重ね、商工会自身の意識改革が必要である。 プレミアム商品券については、町民も歓迎し、加入店舗への効果が大きい事業なので継続が望ましいが、プレミアム部分に係る町の負担が大きいので、負担割合を下げ、かつ規模拡大につながるような取組を検討していただきたい。 （まちづくり活性化推進事業補助金、プレミアム商品券補助金交付事務と併せて評価を行った）
------------	------	---

経営者会議の最終判断	事業の方向性 <input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。	コメント欄 商工会補助金事業は現在、久山町商工会補助金、まちづくり活性化推進事業補助金、プレミアム商品券補助金の3つの補助金が活用されている。それぞれの補助金は、商工会の運営を円滑に進めるとともに、活動の充実、地域の活性化を図ることを目的とするものである。 本町の商業は、小規模事業者が多く、近隣の大型店舗への消費者流出で消費向上が懸念される場所である。立地としては福岡市に隣接し、トリアス久山やレイクサイドホテル久山など外部から注目される施設があり、流入人口が見込める場所でもある。今後、町の活性化と商業の活性化を進めていくためには町と商工会が連携し、魅力ある事業を展開していくことが重要であり、そのためにも事業計画等を明確にし、効果的な補助金支援を検討する必要がある。 プレミアム商品券補助金の負担割合については、段階的に見直しを行い改善を図ること。
------------	--	--